

新しい教育「不易と流行」

○夏休みが昨日で終わりました。子供たちの中には、怪我や病気で1学期同様の通学や学習ができるか心配な子もありますが、命に関わるような大きな事故や病気がなく2学期を迎えられたことには安堵しています。354人の元気な子供の声で、学校に活気が蘇っています。今朝の始業式では、昨年の2学期の行事や出来事について写真などを見せながら話しました。2学期の学校生活にワクワク感を持ってほしかったのと、この4か月の学校生活をどんなふうにしていきたいかをイメージして臨み、前向きな気持ちでがんばってほしいと思ったからです。ご家庭でも、お子様がワクワクするような励ましをぜひお願いします。

○中学校では、この夏休みで全教室にエアコンが設置完了し、8月25日から2学期となっています。小学校でも今年でエアコンの設置工事が終わる予定で、来年の夏から稼働の見込みです。子供たちの学習環境は格段に向上することでしょう。



○もう新聞等でご存知の方もいらっしゃるかもしれませんが、小学校では、平成32年度より学習指導要領が改訂されます。「アクティブラーニング」「外国語」「道徳の教科化」「プログラミング教育」などの目新しいワードが話題になっています。しかし、授業形態は、より子供が「主体的」に、友達と話し合い「対話的」に、学習を「深く」していくことが求められており、これまで本校が求めてきた子供たちの学びの姿そのものです。先生たちは昨年度からこの夏休みも含め、新学習指導要領について研修を積んでいるところです。基本は変わりませんが、それでも、来年度から移行期間に入り、3・4年生は外国語活動が始まり、5・6年生は外国語の時間数が増えます。また、全学年に道徳教科書が配られて、評価もしていくことになります。

○県教育委員会の広報誌に「教育の常に変わらない『不易』と、時代に合わせて取り入れていく『流行』をしっかりと見極めるのが大切だ」と県教育長のコメントがありました。全面実施の32年度からは授業時間が増すのは必須です。時間割も固定したもので行っていくことが更に難しくなってくると思いますが、子供たちがワクワクと学習に臨めることを第一に考えていきたいものです。

〈学校長〉

貴志南小学校では、ホームページを設けています。<http://www9.wakayama-wky.ed.jp/kishiminami/>
※写真等は児童個人を特定できないように配慮しています。